

教育目標 ぶるさとを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成へえがおいっぱい げんきいっぱい いのちいっぱい 東っ子

東小だより



文責 校長 田崎正明

師走号

二学期が終業しました

今年も数える日を残すばかりとなりました。本日、二学期の終業式を行いました。久しぶりに東っ子が一堂に会し、式に臨む東っ子の姿は全員凛々しく、とても立派に感じられました。夏から冬へと移り変わる季節とともに学校生活を過ごし、大きく成長できたことと評価できるものでした。明日から冬休みに入ります。年の暮れ、年明け」という年またぎの体験を通して、新たな目標を立て、その実現にむけて、力強く生活していこうとする決意の芽生えを期待したいと思えます。皆様方には、ご支援いただき、心より感謝申し上げます。来年も東っ子、東小をよろしくお願い致します。よいお年をお迎えください。

防災会議を設立しました

学校運営協議会では、安心安全な学校づくりに向けて防災会議を設立しました。先日は、第一回会議を開き、校区の地理的特徴をもとにした災害時の対応等について委員の方々からご意見をいただきました。また、防災士の大家巨さん、菊陽町在住の「に來校いただき、校区の危険個所の点検の実施とご自身の体験に基づいた講話を行っていただきました。今後本協議会を核にあらゆる災害から東っ子の命を守る取組を進めていきたいと考えます。地域でのお気づきの点がありましたら、皆様方からの情報提供をよろしくお願い致します。



熟議の様子



防災士による視察の様子

東っ子の輝き

- ◆熊日学童スケッチ展 入賞」
三年 北野希海さん
 - ◆菌と口の健康コンクール 入選」
三年 田中日和子さん
 - ◆あまくさ福祉まつり作文 特選」
五年 一二三ゆうねさん
 - ◆あまくさ福祉まつり書道 入選」
六年 浦田香莉奈さん
六年 寺田爽馬くん
- ※裏面に一二三さん、北野さんの作品を掲載しています。

1月の主な予定

- ・11日(火)3学期始業式
- ・12日(水)集団登校・PTA交通指導
- ・24日(月)給食記念週間開始
- ・28日(金)東中一日体験入学
- ・31日(月)性教育週間開始

1月の学校生活目標

- 〔生活目標〕
気持ちの良いあいさつ・返事をしよう
- 〔保健目標〕
かぜを予防しよう

マラソン大会「激走」の東っ子

寒風を突き抜け、それぞれが掲げた目標タイムを目指して、東っ子が持久走に挑戦しました。低学年は二千歩、中学年三千歩、高学年は四千歩の自分の強さ発見への旅でした。練習から自分の弱さと闘いながら、目標に向かう強い自分を見つけようと必死になつてきました。号砲とともに元気にスタートした東っ子からは「スー・スー・ハーハー」とペースを守る息づかいが聞こえました。そんな子供たちを応援しようと、周りには、保護者の方々や地域の方々手作りいただいた応援旗にのせて、大きな声援を送ってくださいました。参加した東っ子全員が完走し、一歩進んだ自分を実感できた体験となりました。練習から当日まで、コース道路の通行等にご配慮いただいた地域の皆様方、快く敷地を提供いただいたJA様、久玉郵便局様に心より感謝申し上げます。

つなしの会を開きました

四年生の二分の一成人式「つなしの会」を開き、十歳のお祝いをしました。全員が将来の夢について語り、十歳の誓いを述べました。地区婦人会・地区更生保護女性会の方々もご来校くださり、手作りのお祝いの色紙を子供たち一人一人にいただきました。つなしの会を通して、成長の意味とともに地域の方々に見守られている喜びを感じた東っ子たちでした。



将来の夢を語る東っ子



いただいた色紙

人権集会を行いました

人権集会を開きました。感染症防止上の配慮もありましたが、発達段階と子供たちの同士のより深い関わりをねらって低中高の三つの部会に分かれて実施しました。集会では人権学習の内容発表、生活の中で感じた人権等について発表し合いました。そのあとはゲーム活動を通して「仲間づくり」を実感した東っ子たちでした。体験が心に響き、豊かな体験として、また心を育てるという「おき循環」に気づけた時間となりました。



学習成果の発表



関係づくりゲーム

地域の方々との交流

久しぶりに地域の方々との交流活動を行いました。地区振興会、地区老人会のご協力によるニュースポーツ体験、昔遊び体験でした。会場は元気いっぱいの東っ子、ご指導いただいた地域の方々の笑顔が広がり、とても賑やかな時間になりました。ご協力いただいた皆様方に心より感謝申し上げます。



お手玉遊び

けん玉遊び

めんこ遊び

羽子板遊び

スコアゴルフ

ペタンク

あとがき～親孝行の達人～

「いってきます」という使い慣れた言葉があります。短い言葉ですがとっても大切な言葉です。この言葉は家族を安心させる力を持っています。毎朝、目と目を合わせて、大きな声で伝えることが大切だと考えます。以前、ある保護者の方が、こんなことを述べていらっしゃいました。「子どもの「いってきます」の一言でとっても大きな安心感があります。うちの子は親孝行日本一です。」と。ぐっと気持ちのこもった言葉です。ちなみに「いってきます」には、「行って、帰ってきます」という意味が込められているそうです。だからこそ、家を出る時は、元気に、命を守って帰ってこようと思えるべきなのですね。元気で、心のこもった「いってきます」が言える東っ子であることを願います。全員が親孝行の達人となってくれるでしょう。(自分自身も伝えられるようになりたいと思います。)

くまもと家庭教育十か条 第九条 (地域全体での子育て) この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝

東っ子の輝き

「福祉について」

五年 一二三ゆうねね

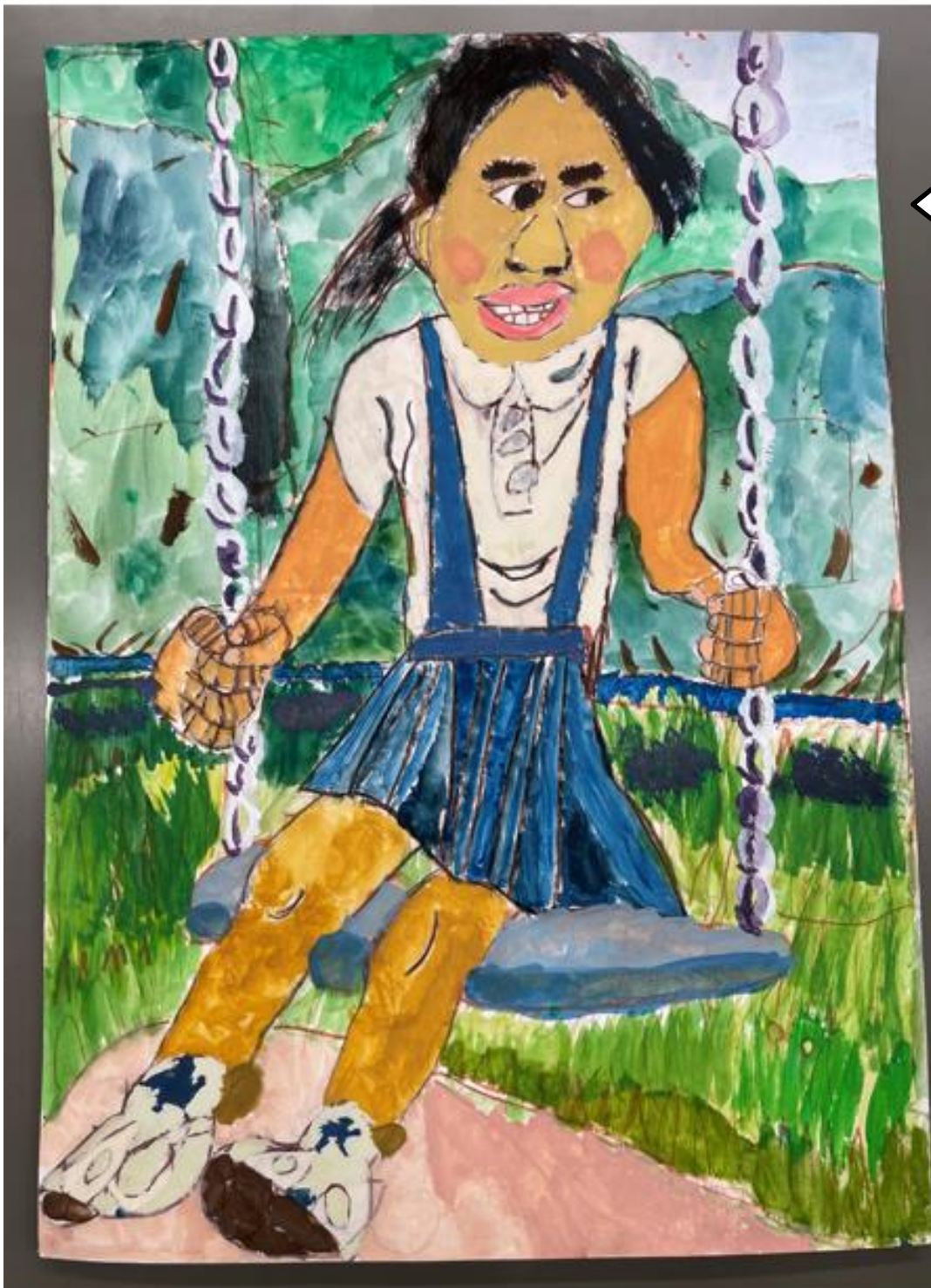
私は、福祉について感じた事が一つがあります。それは、学校の行事で取り組んだマダイのち魚を放流したことです。放流した所は深海の海岸です。保護者の方と地域の方に船を出してもらいました。

自分が一番気をつけた事は、マダイのち魚をあまりきずつけないようにやさしくバケツをひっくり返したことです。放流したち魚は、約一万びきでした。

この一万びきのマダイが牛深の海に帰ってきて、元気に過ごせるために、私たち人間は、ゴミをすてない、レジぶくろをもらわず、エコバッグにしたり、自分で食べれない量の魚をつらないなど、一人一人が小さな努力をつみ重ねて魚の環境を守ることが大切だと感じました。それは、私たちの福祉にもつながります。一人一人がポイすてしないことよって、海も町もきれいになります。そうすると私たちも海の生物もゆたかな生活をおくることができます。今回ち魚の放流の方法や海の環境について教えてくださった漁協の方と地域の方にはとてもお世話になりました。

このような海を思いやる取り組みが広まれば、たくさんの方が思いやり、やさしい気持ちを持つことにつながると思います。今、問題になっている地球温暖化も一人一人の思いやりがあれば、これ以上広がることも少なくなるかもしれません。

天草の海や環境を守る人たちの取り組みが成功するように私も気づいたにゴミ拾いや小さなことを続けていけたらなと思います。



熊日学童スケッチ展 入賞
作者 三年 北野希海